

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで		
期末配当の基準日	3月31日		
中間配当の基準日	9月30日		
定時株主総会	毎年6月		
単元株式数	100株		
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	同お問い合わせ先	東京都府中市日鋼町1 - 1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (通話料無料) (郵送先)〒137 - 8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
		上場証券取引所	東京証券取引所
		公告方法	日本経済新聞

株式に関する手続き

■ 単元未満株式の買増・買取、住所変更などの各種手続きについて

原則として、株主さまが口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)において承ることとなっております。当社株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

単元未満株式の買増・買取制度について

当社では、1単元(100株)未満の株式をご所有の株主さまに対し、ご所有の単元未満株式とあわせて1単元となる数の株式を当社からご購入いただく「単元未満株式買増制度」、ご所有の単元未満株式を当社が買い取らせていただく「単元未満株式買取制度」を実施しております。

■ 特別口座に記録された株式に関する各種手続きについて

当社株主名簿管理人である、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。

特別口座について

証券会社等の口座に入庫されていない株券につきましては、当社が開設した「特別口座」において管理されています。「特別口座」では譲与・譲渡のお手続きができませんので、売買するには証券会社に同一名義の口座を開設し、株式振替を行うお手続きが必要となります。

■ 未受領の配当金のお支払いについて

三菱UFJ信託銀行本支店においてお取り扱いいたします。

株主のみなさまからの声をお待ちしております。

当社では、株主のみなさまからのご意見・ご要望をお受けしております。

ご意見・ご要望がございましたら、お電話やおハガキ、またはe-メール(ir@alfresa.com)でお気軽にお寄せください。

当報告書に関するご意見もお待ちしております。

アルフレッサ ホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部
〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目1番3号 大手センタービル23階
TEL:03-5219-5102 FAX:03-5219-5103



アルフレッサ ホールディングス株式会社



株主のみなさまへ

2019年3月期 第2四半期報告書

(2018年4月～2018年9月)

Fresh life for all.

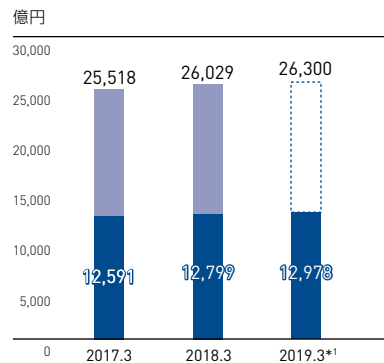
すべての人に、いきいきとした生活を。

alfresagroup

証券コード 2784

■ 連結財務ハイライト

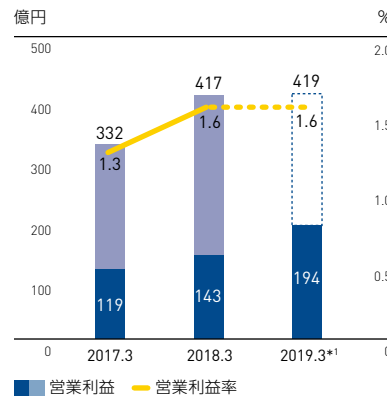
売上高



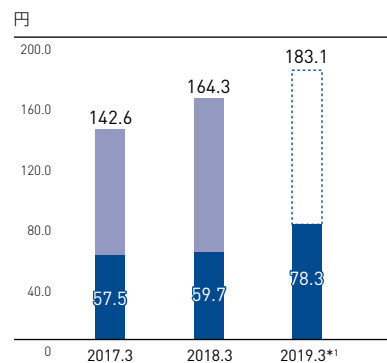
総資産・純資産



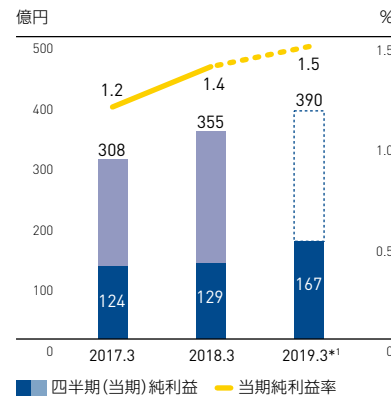
営業利益・営業利益率



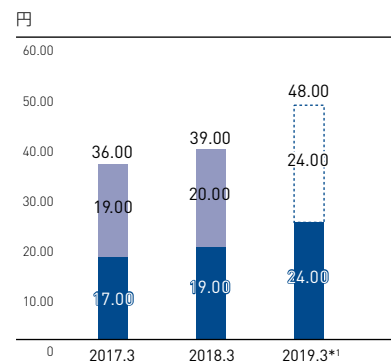
1株当たり四半期(当期)純利益(EPS)



四半期(当期)純利益・当期純利益率*2



1株当たり配当金



*1 2019.3(通期)の業績は予想値

*2 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(率)

配当について

配当につきましては、連結業績を基準に、財務体質の強化や経営基盤の安定性および将来の事業展開等を総合的に勘案し、連結純資産配当率(DOE)2%以上を基本方針としております。

この方針に基づき、2019年3月期は、普通配当21円に設立15周年記念配当3円を加え、中間配当金を24円といたしました。期末配当金は同様に24円を予定しており、年間配当金は合計48円を予定しております。

「将来見通し」に関する注意事項

当社が開示する情報の中には、当社の将来の見通しに関する事項が含まれている場合がありますが、こうした事項には一定のリスクや不確実性などが含まれています。様々な環境変化等により、実際の結果がこれら見通しと必ずしも一致するものではないことを予めご了承ください。

■ TOP MESSAGE

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社は2018年9月に設立15周年を迎えましたが、ひとえに株主のみなさまをはじめ関係各位のご支援の賜物と感謝申し上げます。当期は普通配当に加え年間6円の記念配当の実施を決定し、また株主還元および機動的な資本政策の遂行のために8月までに500万株の自己株式を取得しております。

さて、2019年3月期第2四半期(2018年4月1日～9月30日)の連結業績は、医療用医薬品等卸売事業を中心に順調な進捗となり、売上高1兆2,978億円(前年同期比1.4%増)、営業利益194億円(同35.3%増)の増収増益となりました。これを受けて、通期の業績予想を上方修正しております。

当社グループは、当期を最終年度とする3カ年の中期経営計画「16-18中期経営計画 明日への躍進」におけるグループ経営方針(Challenge 3)に掲げた「グループ一体となった事業強化」「健康・医療関連領域の拡充」「環境変化に先駆けた事業モデルの変革」の実現に向けて取り組んでおります。第2四半期には、医療用医薬品等卸売事業において、医薬品配送の生産性向上のためのシステム導入や、物流機能の高度化・効率化に向けた新たな物流センターの設立を進めました。再生医療等製品の領域では、産官学参加の国家的な戦略特区の一部である神奈川県川崎市殿町に、再生医療等製品の保管・輸送拠点を設置しました。また当社グループの成長領域である医薬品等製造事業においては、第一三共(株)から長期収載品41製品を譲り受ける契約を締結しております。

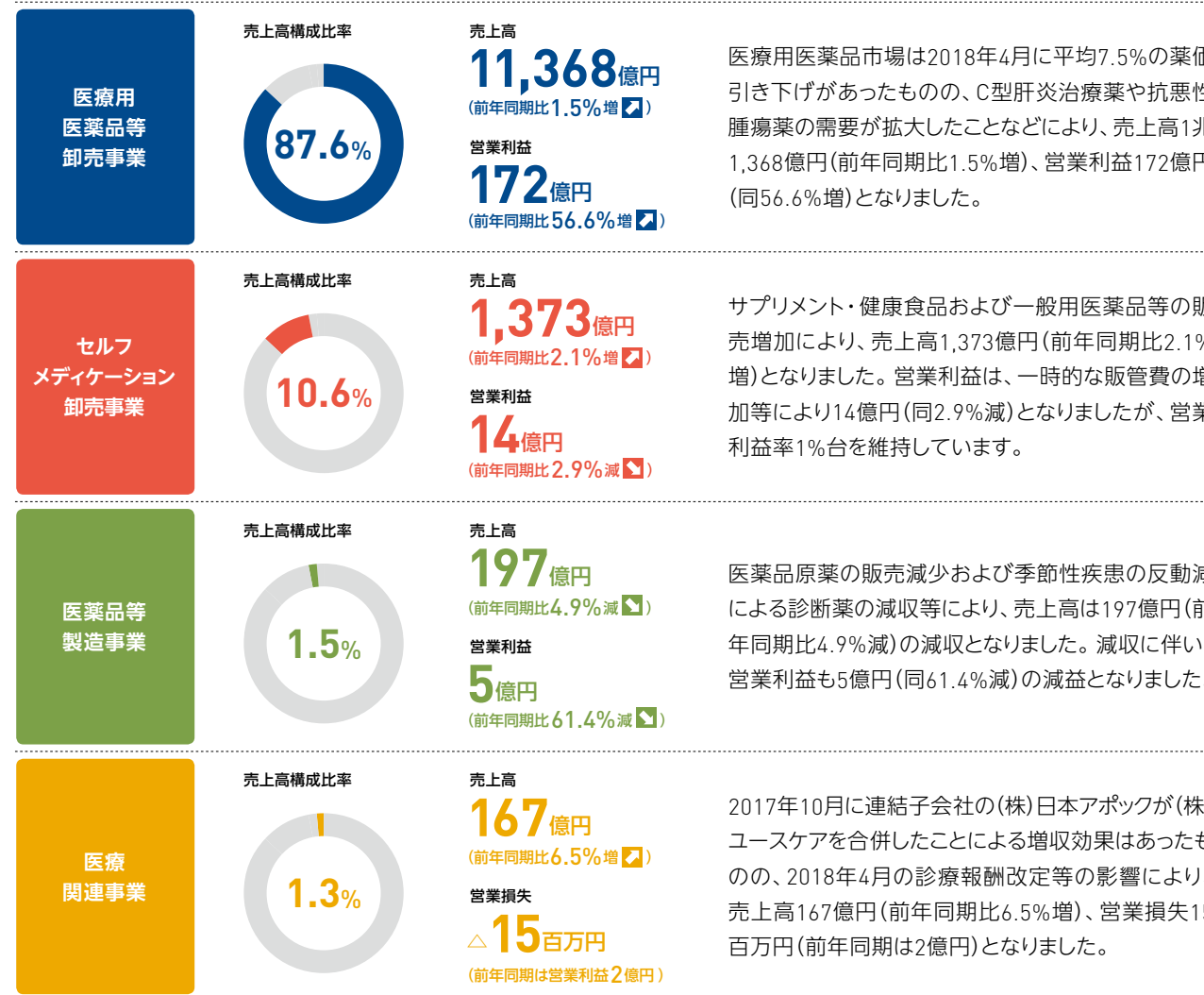
引き続き、「16-18中期経営計画」の経営目標の達成に向けて邁進してまいりますので、より一層のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

久保泰三

第2四半期の事業別業績

連結売上高 **1兆2,978億円** (前年同期比1.4%増) 連結営業利益 **194億円** (前年同期比35.3%増)



トピックス

福岡物流センターが竣工

2018年10月に、アルフレッサ(株)の「福岡物流センター」が竣工しました。アルフレッサグループは物流機能の高度化を目指していますが、当センターは、厳格な温度・衛生管理等が求められるPIC/S GDP*を想定した管理体制に加え、最新の免震装置や大型非常用電源の設置などにより災害発生時の継続的な供給体制を整えるなど、高品質かつ高機能な物流センターとなっています。当社グループの中核的な物流拠点の一つとして、地域医療に貢献していきます。

* PIC/S GDP：医薬品の流通過程における温度管理、衛生管理、各種手順書等の作成等に関する国際基準



ナビタイムジャパンと医薬品配送支援システムを共同開発

アルフレッサ(株)と(株)ナビタイムジャパンは、配送専門職であるセールスアシスタント向けの医薬品配送支援システム「saios」を共同開発しました。このシステムではスマートフォンをセンサー端末として活用することで、最適な配送ルートが算出できるほか、納品報告業務を自動化するなど、配送業務の効率化を実現します。

今後は配送実績をもとにAIを活用した自動配車機能や検品業務機能などを「saios」に集約することも検討しており、さらなる生産性の向上を目指します。



殿町再生医療流通ステーションを設置

再生医療等製品の保管・輸送拠点として、神奈川県川崎市の「ライフイノベーションセンター」内に、アルフレッサ(株)が「殿町再生医療流通ステーション」を設置しました。液体窒素を用いた設備機器等で超低温(マイナス150度以下)の保管・輸送環境を整備するとともに、三菱倉庫(株)と業務委託契約を締結し、多様な業務に対応することが可能となりました。再生医療等製品の保管・輸送に関するノウハウを蓄積し、将来的には全国流通ネットワークを構築していく予定です。

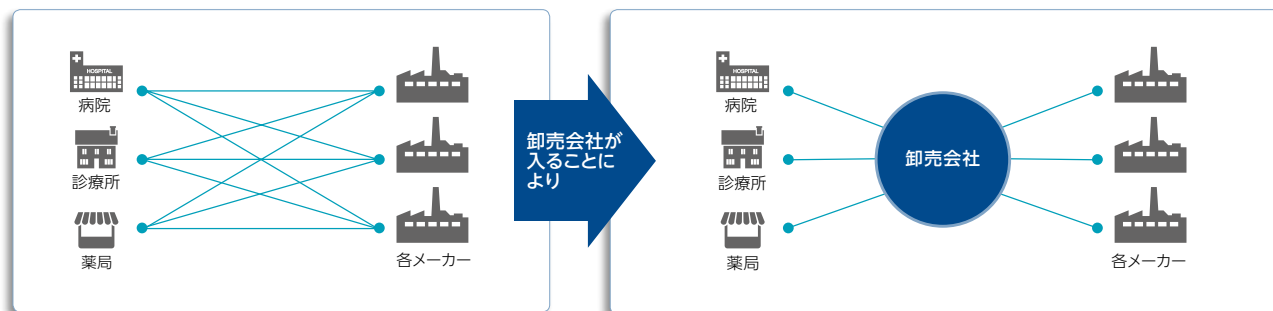
第一三共の長期収載品41製品を譲受

アルフレッサ ファーマ(株)は、第一三共(株)および第一三共エスファ(株)が日本において製造販売している長期収載品41製品の製造販売承認および資産等を承継する契約を締結しました。製品ラインナップの拡充による既存製品とのシナジーや、医療用医薬品等卸売事業など当社グループの他事業とのシナジーを発揮することで、販売力を強化します。医薬品等製造事業はグループにおける成長事業と位置づけており、さらなる強化を進めていきます。

付加価値を高める、 アルフレッサグループの流通体制

日本の医療を支える「毛細血管型流通」

私たちは1万数千種類の医療用医薬品を日本全国の医療機関、薬局等約17万カ所にお届けしています。お届け先数は、欧米の先進国に比べて日本は突出しており、このきめ細かい供給網は「毛細血管型流通」と呼ばれ、卸売会社が重要な役割を果たしています。



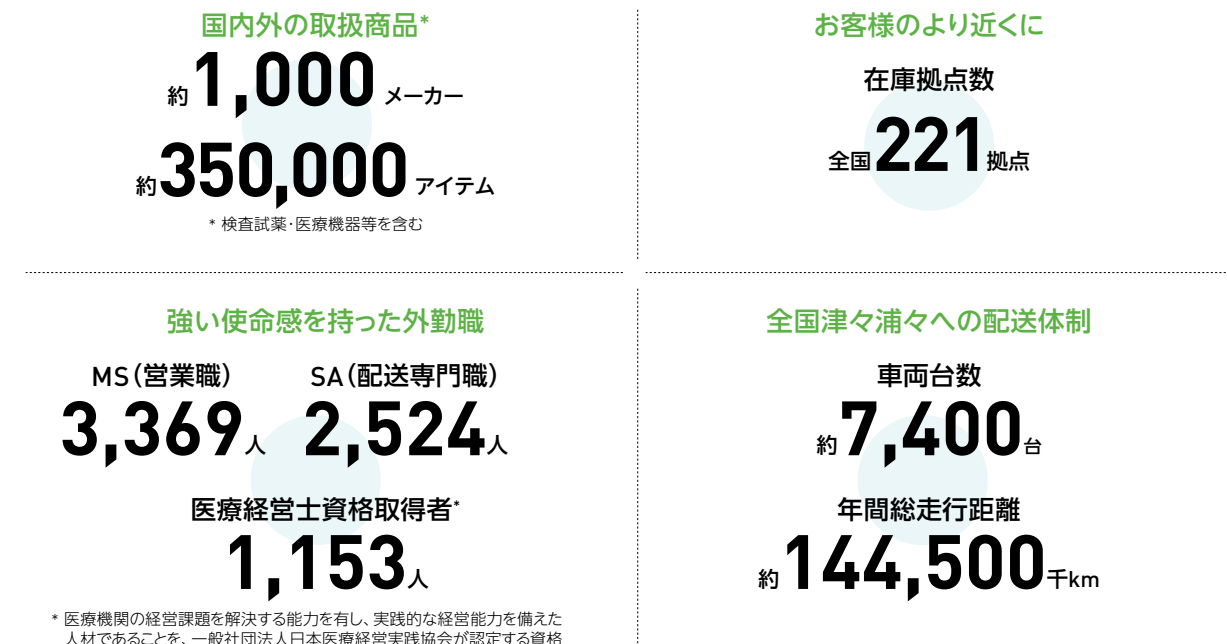
育まれた取引先との信頼の証「医療用医薬品卸 売上No.1」

当社グループでは、医薬品メーカーとの広範な取引や、調剤薬局とのいち早い関係構築などにより、取引先を拡大してきました。これを基盤として強固な流通プラットフォームに多くの製品を流通させることで、事業のノウハウを蓄積し、取引先との信頼関係を高め、医療用医薬品卸 売上No.1の地位を築いています。No.1であることの優位性や資産を活かし、今後は新たな価値の創出を目指しています。

強固な医療用医薬品流通プラットフォーム

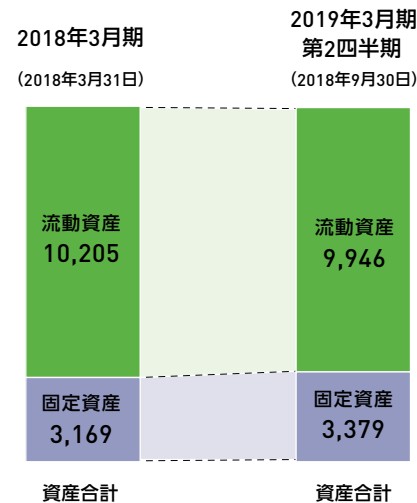
生命関連商品である医療用医薬品の流通を、当社グループでは「決して途切れさせてはならない社会インフラ事業」として捉えています。迅速で確実な供給はもちろんのこと、高機能な物流機能と強い使命感を持った社員が一体となって、対応力や機動力にも優れた強固な流通プラットフォームを築いてきました。今後は、AI、IoT、ロボティクスなどの先端技術を活用した「流通モデルの革新」にも挑戦し、さらなる高度化、効率化に取り組んでいきます。

アルフレッサグループの流通体制（2018年3月31日現在）



第2四半期(累計)連結財務諸表(概要)

四半期連結貸借対照表



POINT 資産

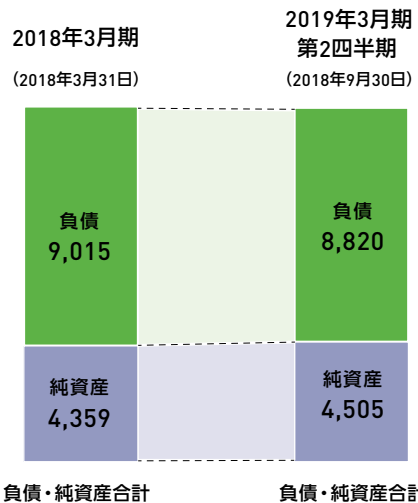
資産は2018年3月期末と比較して、48億円の減少となりました。

流動資産：△258億円

現金・預金・有価証券	△97億円
受取手形・売掛金	△209億円
たな卸資産	+47億円

固定資産：+210億円

有形固定資産	+25億円
無形固定資産	△8億円
投資有価証券	+197億円



POINT 負債・純資産

負債は2018年3月期末と比較して、194億円の減少となりました。

流動負債：△224億円

支払手形・買掛金	△218億円
----------	--------

固定負債：+30億円

純資産は2018年3月期末と比較して、146億円の増加となり、自己資本比率は33.7%となりました。

純資産：+146億円

利益剰余金	+115億円
自己株式	△133億円
その他有価証券評価差額金	+163億円

四半期連結損益計算書および業績予想

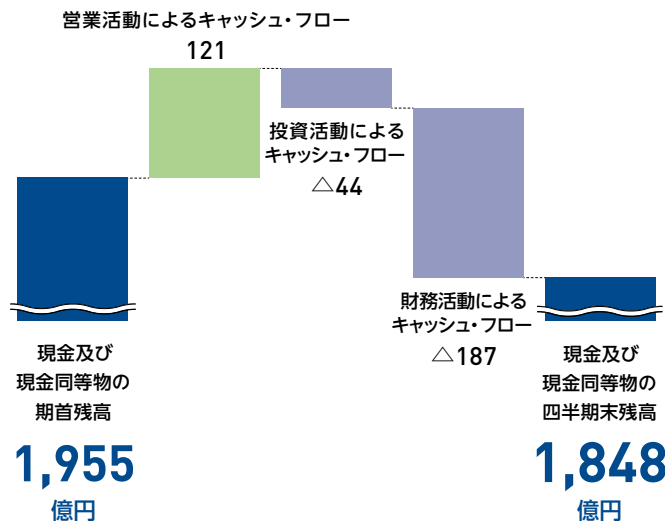
科目	2018年3月期 第2四半期 (2017年4月1日～9月30日)	2019年3月期 第2四半期 (2018年4月1日～9月30日)	増減額	通期予想*2
売上高	1,279,924	1,297,808	17,883	2,630,000
売上総利益	89,536	96,221	6,685	196,600
営業利益	14,364	19,440	5,075	41,900
経常利益	19,047	24,358	5,311	51,900
四半期(当期)純利益*1	12,933	16,782	3,849	39,000

*1 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

*2 2018年10月29日に業績予想を修正

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

2019年3月期第2四半期(2018年4月1日～9月30日)



POINT キャッシュ・フロー計算書

現金及び現金同等物は、第2四半期累計期間において110億円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー：121億円の収入

税金等調整前四半期純利益	+247億円
減価償却費	+45億円
売上債権の減少額	+225億円
たな卸資産の増加額	△45億円
仕入債務の減少額	△233億円
法人税等の支払額	△91億円

投資活動によるキャッシュ・フロー：44億円の支出

有形固定資産の取得による支出	△58億円
----------------	-------

財務活動によるキャッシュ・フロー：187億円の支出

自己株式の取得による支出	△133億円
配当金の支払額	△43億円

株式情報 (2018年9月30日現在)

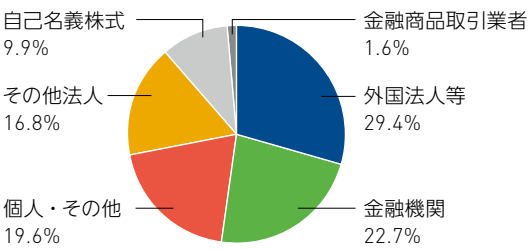
株式の状況

発行可能株式総数	540,000,000株
発行済株式総数	235,017,600株
株主数	9,598名

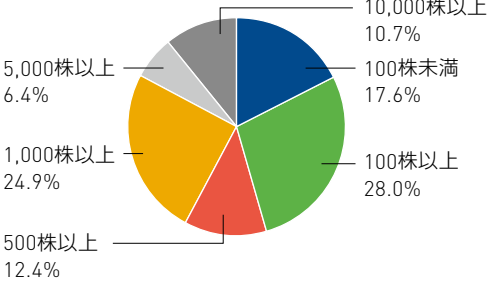
大株主

順位	氏名または名称	所有株式数 (千株)	議決権比率 (%)
1	アルフレッサ ホールディングス株式会社	23,342	—
2	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,277	3.9
3	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,126	3.4
4	アルフレッサ ホールディングス社員持株会	5,502	2.6
5	エーザイ株式会社	4,602	2.2
6	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	4,266	2.0
7	みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 第一三共口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	3,908	1.8
8	野村信託銀行(福神家信託口)	3,800	1.8
9	第一三共株式会社	3,202	1.5
10	STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	3,131	1.5

所有者別株式分布状況



所有株式数別株主分布状況



ホームページでもIR情報を公開しています

より幅広いIR関連情報を、当社ホームページの「株主・投資家情報」で公開しています。決算短信や有価証券報告書などの適時開示資料をはじめ、決算説明会資料や業績ハイライトなどを掲載しています。

また「統合報告書 2018」では、アルフレッサグループの中長期戦略や財務情報、ESGに関する取り組みなどを掲載しています。ぜひご一読ください。

 <https://www.alfresa.com/ir/index.html>



「統合報告書 2018」

会社概要 (2018年9月30日現在)

会社名	アルフレッサ ホールディングス株式会社 (Alfresa Holdings Corporation)
本社所在地	〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目1番3号
従業員数	12,139名(連結)
設立年月日	2003年9月29日
事業の内容	医薬品、医療用検査試薬、医療機器・用具の卸販売、製造販売、輸出入等ならびに調剤薬局の経営とこれらに附帯する事業を行う子会社の管理等
資本金	18,454百万円

グループ会社 (2018年10月1日現在)

医療用医薬品等卸売事業

- アルフレッサ株式会社
- 四国アルフレッサ株式会社
- ティーエスアルフレッサ株式会社
- 明祥株式会社
- 株式会社琉葉
- 東北アルフレッサ株式会社
- アルフレッサ メディカルサービス株式会社
- アルフレッサ篠原化学株式会社

セルフメディケーション卸売事業

- アルフレッサ ヘルスケア株式会社
- 株式会社茂木薬品商会

取締役および監査役

代表取締役会長	鹿目 広行
代表取締役社長	久保 泰三
取締役	三宅 俊一(副社長)
取締役	増永 孝一(副社長)
取締役	泉 康樹(専務執行役員)
取締役	荒川 隆治(常務執行役員)
取締役	勝木 尚
取締役	島田 浩一
取締役(社外取締役)	寺井 公子
取締役(社外取締役)	八剣 洋一郎
取締役(社外取締役)	金野 志保
常勤監査役	桑山 賢治
監査役(社外監査役)	神垣 清水
監査役(社外監査役)	加藤 善孝
監査役(社外監査役)	伊東 卓

医薬品等製造事業

- アルフレッサ ファーマ株式会社
- 青島耐絲克医材有限公司
- アルフレッサ ファインケミカル株式会社
- サンノーバ株式会社

医療関連事業

- アポロメディカルホールディングス株式会社
- 株式会社日本アポック

情報システムの運用・保守および開発事業

- アルフレッサ システム株式会社